

## 補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	町会備品設備整備費補助金	開始 年度	平成27年度
団体名	函館市町会交付金の交付の対象となる団体および町会館を管理する団体(町会等)	団体等 の状況	<input type="checkbox"/> 課税事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市町会備品設備整備費補助金交付要綱		

### ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	町会等の団体が地域活動に必要な備品設備を整備する場合に補助金を交付する。 補助率・・・補助対象経費の2分の1以内(Wi-Fi整備：補助対象の10分の10) 補助金限度額・・・上限50万円, 下限5万円(Wi-Fi整備：上限30万円, 下限2万円) ※Wi-Fi整備の特例については、令和5年度から5年間の時限措置
目 的	(目 的) 町会等の自主的な活動を促進し、地域の連帯感の醸成、自治意識の向上を図ることを目的としている。
・ 効果	(効 果) 防犯・防災・環境整備などの公共性の高い活動のほか、各種イベントなどに必要な備品等を整備することにより、町会活動の活性化、地域住民の福祉の増進に寄与することができる。

### ○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計	
		市	その他						
収 入	R3 (決算)	4,001 [4,001]					4,002 [4,002]	8,003 [8,003]	
	R4 (決算)	3,710 [3,710]					3,974 [3,974]	7,684 [7,684]	
	R5 (決算)	4,925 [4,925]					6,610 [6,610]	11,535 [11,535]	
	R6 (決算)	5,176 [5,176]					9,732 [9,732]	14,908 [14,908]	
	R7 (予算)	4,946 [4,946]					6,646 [6,646]	11,592 [11,592]	
	支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
		R3 (決算)			8,003 [8,003]				8,003 [8,003]
R4 (決算)				7,684 [7,684]				7,684 [7,684]	
R5 (決算)				11,535 [11,535]				11,535 [11,535]	
R6 (決算)				14,908 [14,908]				14,908 [14,908]	
R7 (予算)				11,592 [11,592]				11,592 [11,592]	

## 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市町会備品設備整備費補助金
----------------	-----------------

### ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	町会等は、住み良いまちづくりのために、地域の環境整備、交通安全、防犯活動、青少年の健全育成、在宅福祉の推進等、広範な活動を行って、地域コミュニティの醸成や市民福祉の向上を図り、住民と行政を繋ぐ重要な役割を果たしている。
	①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	町会活動に必要な備品整備に対する補助事業であり、地域活動の促進を図り、良好な地域社会の維持および形成に寄与していることから、補助は必要である。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	町会員が減少するなか、自主財源の確保に努めている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	行政補完の役割があり、主な財源も町会員からの会費の他は、町会交付金および市からの補助金が占めることから、補助することが必要である。

### ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	Wi-Fi整備のみ、令和5年度から5年間に限り、補助率を10/10としているが、町会は現在、なり手・担い手の不足が深刻化しており、持続可能な町会へと転換を図っていくために、デジタル化技術の活用が欠かせないことから、市として環境整備を支援していく。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

# 補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市町会備品設備整備費補助金
----------------	-----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

町会備品設備整備事業の目的は, コミュニティ活動に直接必要な備品等の整備により, 町会活動の活性化および地域住民の福祉の向上を図ることにある。  
町会活動の活性化および地域住民の福祉の向上については, 心理的要素が大きいため数値化は難しいが, 町会等が整備した備品等を活用することにより, 地域活動の促進やコミュニティの維持に繋がるものと考えられる。

(達成状況)

事業実績  
団体数, 補助額  
令和 4年度 15団体, 3, 711千円(うち緊急分 3団体, 362千円)  
令和 5年度 21団体, 4, 925千円(うち緊急分 4団体, 528千円)  
令和 6年度 19団体, 5, 176千円(うち緊急分 3団体, 1, 119千円)



(評 価)	(理 由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	防犯・防災・環境整備などの公共性の高い活動のほか, 各種イベントなどに必要な備品等を整備することにより, 町会活動の活性化, 地域住民の福祉の増進に寄与している。
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 本制度は町会活動に必要な備品整備に対する補助事業であり, 地域活動の促進を図り, 良好な地域社会の維持および形成に寄与していることから, 現行のまま補助を継続する。 (見直しの時期) 令和9年度
<input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

  

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 9 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	令和 9 年度